

平成 30 年度 事業報告

地域福祉推進を目的とし、住民の皆様や各種団体などからいただいたご意見やご要望をもとに、志免町の「地域福祉計画」と協働して策定いたしました『第 5 次地域福祉活動計画』（平成 29 年度～平成 33 年度）に基づいた活動を行ってまいりました。

その中の重点的取り組みとして挙げていました「居場所づくり活動」については、「地域福祉活動者交流会」や「四者合同研修会」などで、研修や意見交換会などを実施しました。また、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）業務の一環として「志免町の居場所事例集」を作成し、地域福祉活動者や医療・介護専門職などへ配布し、住民交流会等で周知活動も行いました。

関係機関との連携として、地域包括支援センターや町内の介護事業所に勤めるキャラバン・メイトと共に実施する「認知症サポーター養成講座」、糟屋郡内の社会福祉法人が協力し、生活困窮者支援活動を行う「ふくおかライフレスキュー事業」を引き続き実施すると共に、まちづくり支援室と協働で「ボランティアハンドブック」を新たに作成しました。

「介護保険事業」や「障害者総合支援事業」の自主事業においては、継続的収益確保に取り組んでまいりました。

この様に、今年度も地域住民や各種関係機関の皆様のご支援・ご協力を受けて、事業に取り組む事ができました。

平成 30 年度の事業実施の状況について、次のとおり報告いたします。

平成 30 年度 志免町社会福祉協議会 地域福祉事業報告

1. 地域福祉活動や各種事業の充実促進

(1) ふれあいのまちづくり事業の推進

①小地域福祉活動への支援

・福祉推進委員活動の推進

町内会で、おひとり暮らし高齢者や障がい者などの援護が必要な方への見守り安否確認活動を組織的に展開していただきました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
見守りネットワーク組織化	30 町内会	30 町内会

・福祉推進委員視察研修会

先進的な取り組みをしている 4 つの町内会から、希望する視察先を選択する形で視察研修会を実施しました。

	平成 30 年度		平成 29 年度
東校区	田富町内会	12 月 15 日 (土) 6 人	5 人
南校区	桜丘中央町内会	9 月 8 日 (土) 7 人	3 人
中央校区	志免四町内会	9 月 11 日 (火) 1 人	4 人
西校区	サンリヤン町内会	10 月 20 日 (土) 5 人	5 人
計	参加者 19 人		参加者 17 人

・町内会長・福祉推進委員合同研修会

地域福祉活動を中心に担っている町内会長と福祉推進委員の方々に他の先進地区の活動を知っていただく機会として実施しました。

開催日：1 月 18 日 (金)

視察先：うきは市社会福祉協議会、住民型有償サービスおおいし絆クラブ

	平成 30 年度		平成 29 年度	
参加者内訳	町内会長	16 人	町内会長	19 人
	福祉推進委員	21 人	福祉推進委員	19 人
			福祉課	2 人
合計	37 人		40 人	

・地域福祉活動者交流会

地域福祉活動を担っている民生児童委員と福祉推進委員が、より一層の連携を図るため、「新たな居場所活動」をテーマに意見交換等を行いました。

開催日：5 月 31 日 (木)

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者内訳	民生児童委員 27 人 福祉推進委員 24 人	民生児童委員 21 人 福祉推進委員 25 人
合 計	51 人	46 人

- ・福祉協力員への支援

各町内会で挙げられている福祉協力員の方々を保険に加入し、安心して福祉活動が出来るよう支援をしました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
福祉協力員	644 人	704 人

- ・見守りネットワーク活動推進の支援

書類を変更し、各町内会の活動状況を確認すると共に、「出前ふくし講座」などで見守りネットワークの重要性に関する講話を行いました。

また「楽しく食べて語ろう会」の案内やカレンダー配布等を通じて、見守り対象者宅を訪問していただきました。

- ・居場所づくり支援

「地域福祉活動者交流会」、「四者合同研修会」などで、居場所づくりに関する研修会を開催しました。

また居場所活動の周知啓発を目的に「志免町の居場所事例集」を作成しました。

- ・地域福祉活動費助成

7月に各町内会へ賛助会還元金として「地域福祉活動費」を交付しました。

②住民参加による地域福祉事業

1) 地域福祉活動推進のための啓発普及

- ・四者合同研修会

町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の地域の中核的役割を担っている四者の方々に地域福祉活動の必要性を理解して頂くために研修会を実施しました。

開催日：7月25日（水）

講演：「私にとっての居場所・あの人にとっての居場所」

講師：筑後市社会福祉協議会 総務福祉係長 ト部善行 氏

その他：多様な団体・居場所の紹介を職員から行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者内訳	町内会長 14 人	町内会長 19 人
	民生児童委員 25 人	民生児童委員 24 人
	福祉推進委員 21 人	福祉推進委員 22 人
	理事・監事・評議員・顧問 27 人	理事・監事・評議員・顧問 ・その他 37 人
合 計	87 人	102 人

・ 四者合同会議

赤い羽根共同募金にご協力を頂いている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に「赤い羽根共同募金運動」について説明を行い、町内会毎に街頭・法人募金の実施日程を協議いただきました。

開催日：8月28日（火）「赤い羽根共同募金運動について」

（県社協からの講演、志免町での配分事業の説明、校区別協議）

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者内訳	町内会長 16 人	町内会長 15 人
	民生児童委員 27 人	民生児童委員 22 人
	福祉推進委員 21 人	福祉推進委員 20 人
	理事・監事・評議員・顧問 35 人	理事・監事・評議員・顧問 ・その他 38 人
合 計	99 人	95 人

・ 町内会や関係団体等への出前ふくし講座

地域福祉活動やボランティア活動への理解と関心を深めていただくことを目的に、町内会などに出向き、福祉体験や講話を行いました。また、社協全体で対応することで、プログラムも増えました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
回 数	34 回	34 回
参加者数	1,570 人	1,194 人

・ 認知症サポーターキャラバン活動

「認知症サポーター養成講座」

地域包括支援センターや町内のキャラバン・メイトと協力して開催しました。平成 22 年度から「認知症サポーター養成講座」を開催し、受講者数は延べ 2,478 人となっています。

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者	9 回 343 人	9 回 309 人

「志免町キャラバン・メイト連絡会」

第 1 回 6 月 25 日 (月)、第 2 回 1 月 17 日 (木)

「認知症サポーター・メイト等フォローアップ研修」(全 2 回)

第 1 回 11 月 29 日 (木) 参加者 98 人

講演：「みんなで作る認知症にやさしいまち～一人の百歩より百人の一步～」

講師：医療法人社団誠仁会 小規模多機能施設めおといわ「ゆい」

施設長 党一浩 氏

第 2 回 1 月 23 日 (水) 参加者 44 人

講演：「老いても安心して暮らすために～認知症介護の現場から～」

講師：社会福祉法人福岡ひかり福祉会 地域密着型介護老人福祉施設

よりあいの森 施設長 村瀬孝生 氏

※地域包括支援センターが行う研修に協力しました。

・障がい者福祉啓発事業「やさしさのつどい」

障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」、ボランティア連絡協議会と
共同で「障がい」に関する啓発事業を行いました。

開催日：11 月 26 日 (日) ※参加者数はいずれも推計

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者	970 人	700 人

2) 在宅高齢者・障がい者等に対する福祉サービス

・在宅介護者のつどい

「介護講座」(全 2 回)

第 1 回 6 月 28 日 (木)

講演：「笑顔で学ぶ笑いヨガ ～みんなで笑ってココロも元気～」

講師：ウェルネスサポート 代表 佐藤昌久 様

※志免町在宅介護者の会「すみれの会」との共催

※茶話会も行いました。

第 2 回 12 月 11 日 (火)

講演：「在宅介護をしている方のためのストレスコントロール

～こころの健康を保つためには～」

講師：福岡工業大学短期大学部・西日本短期大学

非常勤講師 山本素子 氏

「日帰りバスハイク」

3月22日（金）ほうじょう温泉「ふじ湯の里」（田川郡福智町）、
道の駅おおとう桜街道

平成 30 年度		平成 29 年度	
第 1 回 介護講座	24 人	第 1 回 介護講座	23 人
第 2 回 介護講座	12 人	第 2 回 介護講座	22 人
リフレッシュバスハイク	21 人	第 3 回 介護講座	26 人
—	—	リフレッシュバスハイク	27 人
計	57 人	計	98 人

・福祉用具の貸出（車いす）

町内在住の方に向けて、車いすの貸出を行っています。

	平成 30 年度	平成 29 年度
貸出件数	63 件	116 件

3) 児童・青少年の健全育成

・中学生ボランティアスクール（全 2 回）

志免町内の中学生を対象に、学習・体験を通して福祉について関心を高め、地域に住む人々の多様性を知り、ともに生きる地域の一員として、自分にできることを実践していこうとする姿勢を身につけることを目的に実施しました。

第 1 回 8 月 8 日（水）9：30～16：00

知的・発達障がい者の「心をつなぐ疑似体験」

講師：福岡県手をつなぐ育成会

YUZUKA での障がいのある方とのクッキーづくり体験

場所： YUZUKA（自立訓練・就労継続支援 B 型、須恵町）

障がいについての講話（社会福祉協議会職員）

第 2 回 8 月 9 日（木）9：30～16：00

医療・介護施設かめやまでのボランティア活動

場所：介護付き有料老人ホームかめやま

社協だよりの記事作成体験

	平成 30 年度	平成 29 年度
参加者数	16 人	5 人

- ・小中学校福祉教育授業、チャレンジひろば等における「出前ふくし講座」およびボランティア調整

「総合的な学習」等への企画提案や講師派遣の調整を行いました。

【社会福祉協議会職員による出前ふくし講座など】

開催場所	回数	内 容
チャレンジひろば in 西	1 回	障がいについての講話、アイマスク体験
チャレンジひろば in 南	1 回	障がいについての講話、車いす体験
チャレンジひろば in 東	1 回	障がいについての講話、アイマスク体験
東小学校	2 回	①障がいについての講話、アイマスク体験 ②バリアフリー等についての講話、車いす体験
中央小学校	4 回	①「ふくしとは」をテーマとした講話 ②車いす・アイマスク体験 ③当事者講演（瞳の会、手話の会） ④バリアフリーについての講話
計	9 回	

【ボランティア調整】

開催場所	回数	内 容
南小学校	2 回	ボランティア調整 瞳の会
西小学校	1 回	ボランティア調整 瞳の会
東小学校	1 回	ボランティア調整 手話の会
中央小学校	2 回	ボランティア調整 瞳の会、手話の会
計	6 回	

- ・小中学校福祉教育連絡会

小中学校福祉教育担当者連絡会を年 2 回開催し、社会福祉協議会からのお知らせや各校の福祉への取り組みに関する情報交換などを行いました。

第 1 回 6 月 25 日（月）、第 2 回 3 月 19 日（火）

- ・小中学校への福祉教育費助成

学校における福祉教育にかかる費用について助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
助成校	西小学校、中央小学校 東小学校、南小学校	西小学校、中央小学校 東小学校、南小学校
計	4 カ所	4 カ所

- ・福祉用具の貸出（点字板、点字ブロック、白杖、アイマスク）
東小学校にアイマスクと白杖の貸出を行っています。

- ・学習関連事業の充実（学習サポート事業）

世帯の状況等により、学習機会の少ない町立の小・中学校の生徒を対象にボランティアによる学習支援を実施しました。

日時：毎週土曜日 10時～12時（祝日、年末年始、学校行事などの際は中止）

対象：志免町立の小学5年生から中学3年生の生徒

	平成30年度	平成29年度
開所日	38日	40日
参加生徒	4人	8人
ボランティア	23人	23人

- ・不登校・引きこもり世帯の支援（不登校・引きこもり家族交流会）

当事者同士の交流やニーズ把握を目的に定期的に家族交流会を開催しました。

第1回 5月12日（土）茶話会、お茶菓子交流会

第2回 7月14日（土）勉強会＋茶話会

講演：「不登校から復帰へのプロセスについて」

講師：臨床心理士 山川京子 氏

第3回 9月15日（土）講演&コンサート＋茶話会

講演：「不登校だった僕からのメッセージ」

講師：シンガーソングライター 吉田祥吾 氏

第4回 11月10日（土）茶話会、お茶菓子交流会

第5回 1月12日（土）勉強会＋茶話会

講演：「“居場所”について考えてみよう」

講師：うきは市社会福祉協議会 権藤俊介 氏

第6回 3月2日（土）不登校・引きこもり家族会サルビアの会（筑後市）との交流会、視察研修

	平成30年度	平成29年度
開催日	6日	6日
延べ参加者	50人	42人

4) 高齢者、障がい者、児童・青少年等の社会参加

- ・70歳以上ひとり暮らしのつどい「楽しく食べて語ろう会」

町内会長や民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事の方々にも呼びかけ、5回に分けて開催しました。

開催日：南校区6月12日（火）、西校区6月19日（火）、東校区6月26日（火）、中央校区②台風により中止、中央校区①7月10日（火）

開催場所：老舗割烹「松活」

校 区	平成 30 年度	平成 29 年度
東校区	79 人	75 人
南校区	53 人	54 人
西校区	76 人	82 人
中央校区	73 人	106 人
計	281 人	317 人

・「ふれあい・いきいきサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、主に高齢者とボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6 町内会〕	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6 町内会〕
南校区	水鉛、桜丘一、桜丘中央 桜丘南、石橋台〔5 町内会〕	水鉛、桜丘一、桜丘中央 桜丘南、石橋台〔5 町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡〔8 町内会〕	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡〔8 町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一、別府二 別府三、鏡、アネシス、御手洗 サンリヤン〔9 町内会〕	南里二、別府、別府一、別府二 別府三、鏡、アネシス、御手洗 サンリヤン〔9 町内会〕
計	28 町内会	28 町内会

・地域型「楽しく食べて語ろう会」助成

町内会で開催される「楽しく食べて語ろう会」への 70 歳以上ひとり暮らしの方の参加に対する助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
東校区	田富 15 人、成和 10 人 向ヶ丘 23 人、松ヶ丘 18 人 東区 13 人〔79 人〕	田富 11 人、成和 10 人 向ヶ丘 23 人、松ヶ丘 16 人 東区 13 人〔73 人〕
南校区	吉原 2 人、水鉛 3 人 桜丘中央 20 人、桜丘南 12 人 石橋台 4 人〔41 人〕	吉原 3 人、水鉛 2 人 桜丘中央 13 人、桜丘南 10 人 石橋台 2 人〔30 人〕
中央校区	志免二 4 人、志免四 8 人 志免五 8 人、志免六 13 人 坂瀬 33 人、南里一 7 人 南里三 8 人、王子八幡 12 人 〔93 人〕	志免二 7 人、志免四 10 人 志免五 7 人、志免六 9 人 坂瀬 30 人、南里一 7 人 南里三 9 人、王子八幡 10 人 〔89 人〕

西校区	南里二 8 人、別府 8 人 別府一 10 人、別府二 23 人 別府三 4 人、鏡 7 人 アネシス 12 人、御手洗 2 人 サンリヤン 1 人 [75 人]	南里二 7 人、別府 10 人 別府一 10 人、別府二 23 人 別府三 2 人、鏡 11 人 アネシス 12 人、御手洗 2 人 サンリヤン 2 人 [79 人]
計	27 町内会 288 人	27 町内会 271 人

・「子育てサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、子どもとその親、ボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
町内会	吉原、水鉛、志免四 南里一、南里二 サンリヤン、モントーレ	吉原、水鉛、志免四 南里一、南里二 サンリヤン、モントーレ
計	7 町内会	7 町内会

・「ふくしの世代間交流」助成

高齢者や子どもなど、世代を超えて交流を図る行事を行う町内会に助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘 志免三、松ヶ丘、東区 〔6 町内会〕	田富、成和、向ヶ丘 志免三、松ヶ丘、東区 〔6 町内会〕
南校区	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、石橋台 〔6 町内会〕	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、石橋台 〔6 町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡 〔8 町内会〕	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡 〔8 町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡 アネシス、御手洗 サンリヤン、モントーレ 〔10 町内会〕	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡 アネシス、御手洗 サンリヤン、モントーレ 〔10 町内会〕
計	30 町内会	30 町内会

・「新たな居場所活動」助成

町内会で開催される「新たな居場所活動」への助成を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
町内会	田富、松ヶ丘、桜丘一 桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、志免五 南里一、王子八幡 サンリヤン	桜丘中央、志免五、南里一 王子八幡、サンリヤン
計	11 町内会	5 町内会

・志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」活動への支援

「こころのまど」は、町内で活動する障がいのある当事者団体および家族会の計 6 団体で構成されています。団体間の連携を図りながら、障がい者福祉の啓発活動を行っており、その活動支援を行いました。

主な活動：交流会、バスハイク、視察研修、定例会、勉強会など

・高齢者団体、障がい児・者団体、在宅介護者団体等活動への支援

「ひとり暮らしの会『さくら会』への支援」

70 歳以上のお一人暮らしの方の交流を目的とした「さくら会」への活動支援を行いました。

主な活動：バスハイク（年 8 回）

「障がい児・者団体連絡協議会『こころのまど』所属団体への支援」

「こころのまど」所属団体への支援を行っています。

- 発達がゆっくりとした子どもたちの自立を考える親の会「すてっぷくらぶ」
- 「志免町身体障がい者福祉協会」
- 障がいのある子もない子も共に演劇を！「劇団きらきら」
- ゆっくりっ子と家族が楽しむ「おはなし会げんき！」
- 「ツモローの会」
- 視覚障がい者サークル「志免瞳の会」

「在宅介護者の会『すみれの会』への支援」

介護者の会「すみれの会」の定例会に参加するなど、活動に関する支援を行いました。

主な活動：定例会、花見、勉強会、バスハイク、新年会など

- ・子育て世帯向け事業

第1回 3月13日(水)「子育て自信アップ講座」

未就学児から小学生の保護者対象に保護者の不安感の軽減方法や子どもとの関わり方の学習の機会を設け、子どもたちの健やかな成長に繋げていくことを目的に実施しました。

講師：みらいアクション 代表 平田奈美 氏

その他：子育て支援センターより事業の紹介、社会福祉協議会より子育てサロン・サークルの紹介を行った。

第2回 3月27日(水)「パステルアートワークショップ」

リフレッシュを図ると共に「子育て自信アップ講座」参加者のその後の効果を把握することを目的に実施しました。(志免在住の親子10組参加)

講師：須藤由布子 氏

	平成30年度	平成29年度
第1回	21人	33人
第2回	27人	—
計	48人	33人

- ・レクリエーション道具、遊具、チャイルドシートの貸出

○レクリエーション道具、遊具の貸出

	平成30年度	平成29年度
件数	157件	173件

○チャイルドシートの貸出

	平成30年度	平成29年度
件数	32件	41件

5) ボランティア活動の促進

- ・各種ボランティア講座

「施設職員向けボランティア受け入れ講座

～ボランティアのチカラを活かした施設運営～」

「まちづくり支援室」にもご協力頂き、志免町内の福祉施設職員向けにボランティアの受け入れ講座を開催しました。

開催日：7月12日(木)

参加者：12人

「福祉ボランティア入門講座」

ボランティアに関する講話、活動者からボランティア団体の紹介、交流会を行いました。

開催日：1月30日(水)

	平成 30 年度	平成 29 年度
受講者	受講者 4 人	受講者 9 人

・地域支えあい事業

日常生活の中で、自分や家族だけでは解決が出来ない困りごとを抱えている方々に「利用会員」として登録してもらい、それに対して、「協力会員」として登録した住民の方が、必要な支援を行うことによって、その解決を図るものです。

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用会員	26 人	26 人
協力会員	27 人	27 人
活動回数	9 回	21 回

・志免町ボランティア連絡協議会活動への支援

福祉関係ボランティアの計 11 団体が結成された志免町ボランティア連絡協議会への活動支援を行いました。

・志免町ボランティア連絡協議会所属団体活動への支援

志免町ボランティア連絡協議会所属団体への活動支援を行いました。なお、会の都合により 2 団体が解散しました。

- 志免町手話の会「指友会」
 - 志免テープの会「あじさい会」
 - 志免点訳サークル「ほたるの会」
 - 介護ボランティア「コスモスの会」
 - 障がい児（者）を支える会「志免町 野の花会」
 - 農園ボランティア「ふたば会」
 - やすらぎの郷訪問ボランティア「野菊の会」
 - 障がい者デイサービス支援ボランティア「レインボーグループ」
 - 視覚障がい者サークル「志免瞳の会」
 - 志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」
 - 大道芸ボランティア「てまり一座」
- 合計 11 団体

また、団体支援の一環として、「志免町野の花会」が主催した講演会に共催者として協力しました。

障がい者差別解消法啓発講演「障がいがある人もない人も共に生きるまちづくり」

開催日：9 月 29 日（土）

参加者：約 100 人

講演：「共生社会を目指して私たちができること」

講師：筑紫女学園大学人間科学科心理・社会福祉専攻 教授 山崎安則 氏

その他：JOY倶楽部ミュージックアンサンブル

・町内のボランティア団体への支援

ボランティア活動保険の加入受付などを行いました。

・ボランティア関係機関との連携

まちづくり支援室と連携し、「施設職員向けボランティア受け入れ講座」の開催や、「ボランティアハンドブック」を作成しました。

・ボランティア育成・福祉団体等への助成

ボランティアおよび福祉団体等への助成について、配分申請内容について配分審査会を設けることで、適正な助成に努めました。

助成対象事業	平成 30 年度		平成 29 年度	
	申請件数	決定件数	申請件数	決定件数
団体活動運営費	12 件	12 件	13 件	13 件
団体研修事業費	3 件	3 件	4 件	4 件
備品購入費	2 件	2 件	1 件	1 件
地域連携活動支援事業	2 件	2 件	2 件	2 件
計	19 件	19 件	18 件	18 件

③福祉施設協働事業

・ふくおかライフレスキュー事業への参画

糟屋郡内の社会福祉法人が連携し、生活困窮者支援活動を行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、相談対応、会議等への参加をしました。

④総合相談（法律相談・交通事故相談・福祉相談）

あらゆる悩みごとの解決の糸口を探すという観点から、他の相談機関とも連携し、住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言や援助で問題の早期解決、福祉の推進を図りました。その他、職員による福祉相談も随時実施しました。

	平成 30 年度		平成 29 年度	
	日	件数	日	件数
法律相談	24 日	138 件	24 日	133 件
交通事故相談	9 日	12 件	15 日	9 件

⑤広報活動の充実

- ・「社協だより」の発行と内容の充実
年6回発行（他 共同募金関係報告1回）
広報部会において、「社協だよりについてのアンケート」を実施し、掲載内容などの検討を行いました。
- ・ホームページ、SNSの活用
ホームページ・SNS（フェイスブック）でお知らせや事業報告などを随時掲載しました。

⑥その他

- ・災害ボランティアセンター体制整備
志免町での大規模災害に備えた「災害ボランティアセンター」の実施に伴う体制整備として、「災害ボランティアセンター」に関する職員研修を実施しました。
開催日：2月14日（木）
参加者：志免町社協職員34人

- ・臨時食料品等給付・貸出事業
諸事情により、経済的に困窮し、食事の確保が難しい世帯を対象に、食料給付および調理器具などの貸出を行いました。

	平成30年度	平成29年度
給付世帯	15件	13件
貸出世帯	0件	1件

- ・第5次地域福祉活動計画の進捗状況把握
福祉部会にて、進捗状況の報告を行いました。

(2) 受託事業

①福祉バス事業【役場福祉課より】

志免町内の団体が研修などをされる際に、バスを運行しました。

(有料道路・駐車場は利用者負担。)

	平成30年度	平成29年度
運行回数	122回	128回
利用者数	2,375人	2,320人
1回当たり	19.5人	18.1人

②外出支援サービス【役場福祉課より】

公共交通機関を利用することが困難な高齢者や、障がいのある方に対して、利用者の居宅と病院や福祉施設の間をリフト付車両にて送迎するサービスを行いました。

なお、30年度より利用料金が無料となりました。

(※片道 30 km まで。有料道路・駐車場で発生した料金は利用者負担。)

	平成 30 年度	平成 29 年度
高齢者	293 回	287 回
障がい者	118 回	95 回
合 計	411 回	382 回

③障害者在宅介護支援センター事業【役場福祉課より】

・相談事業

障がいのある方が、自分らしく生活できるよう、ご本人・ご家族からの相談に応じ、情報提供や関係機関との連携など必要な支援を行いました。(相談無料。)

	平成 30 年度	平成 29 年度
相談延件数	2,068 件	2,271 件

・支援区分調査

介護給付の障害福祉サービス（ヘルパーなど）を利用するために必要な「障害支援区分」（1～6区分）の認定調査の委託を受けて実施しました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
調査数	175 件	108 件

注) 平成 30 年度からは、支援区分調査に加えて、概況調査（※）も行い、件数が増えている。

※概況調査…訓練等給付の障害福祉サービス（就労移行支援など）を利用するために必要な調査。

・計画相談支援

障がいのある方への障害者総合支援法におけるサービス利用などの支援（サービス等利用計画作成）を行い、関係機関と連携し必要な支援を行いました。

(利用料金：無料)

	平成 30 年度	平成 29 年度
サービス利用支援 (サービス等利用計画作成)	100 件	110 件
継続サービス利用支援 (計画の実施状況把握)	193 件	228 件

④障がい者地域生活支援事業【役場福祉課より】

自立の促進・生活の改善・身体機能の維持向上を図ることができるようセンターに送迎し、機能訓練、創作活動、簡易作業、食事入浴などのサービスを提供しました。

また、介護されているご家族にも「ゆとりの時間」をもっといただくことも目的としています。

・身体障害者デイサービス（デイサービス青空）

	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日数	241 日	242 日
利用延人数	1,383 人	1,661 人
1 日平均利用人数	5.7 人	6.9 人

・知的障害者デイサービス（デイサービス太陽）

	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日数	241 日	242 日
利用延人数	1,080 人	1,308 人
1 日平均利用人数	4.5 人	5.4 人

※「身体障害者デイサービス」・「知的障害者デイサービス」は、「福祉課」と月 1 回、「情報交換会議」を開催しています。

⑤子育て支援事業【役場子育て支援課より】

母子・寡婦・父子家庭・産前産後の方を対象に、ご自宅に伺い、家事援助を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
活動延時間数	0 時間	144 時間

⑥生活福祉資金貸付事業【福岡県社会福祉協議会より】

低所得者、高齢者、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として、民生児童委員と社会福祉協議会が協力して運営している貸付事業です。

	平成 30 年度	平成 29 年度
相談件数	93 件	83 件
申請件数	41 件	23 件
決定件数	35 件	20 件

⑦日常生活自立支援事業【福岡県社会福祉協議会より】

認知症、知的障がい、精神障がいのある方などで、判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用や日常的金銭管理などのお手伝いをしました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
契約件数	6 件	8 件
新規契約	1 件	1 件
解 約	1 件	3 件
支援回数	63 回	73 回

⑧共同募金事業 募金事務代行【福岡県共同募金会より】

福岡県共同募金会志免町支会としての事務業務を実施しました。

⑨生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター関連事業）【役場福祉課より】

誰もが住みよいまちづくりを目指し、住民同士のつながりや活動を推進する「生活支援コーディネーター」（地域支え合い推進員）業務を行いました。県などが開催する連絡会などにも積極的に参加をしました。

・ 志援隊交流会

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催数	6 回	6 回
参加延人数	222 人	324 人

・ 小学校区別住民交流会

校 区	平成 30 年度	平成 29 年度
東小学校区	8 月 29 日（水）18 人・2 月 14 日（木）33 人	31 人
南小学校区	8 月 24 日（金）20 人・2 月 13 日（水）19 人	32 人
中央小学校区	8 月 30 日（木）11 人・2 月 26 日（火）19 人	21 人
西小学校区	8 月 27 日（月）28 人・2 月 15 日（金）19 人	29 人
計	全 8 回・参加者 167 人	全 4 回・85 人

・「志免町の居場所事例集」の作成

志免町で行われている居場所などの情報を掲載した事例集を作成し、地域福祉活動者や医療・介護専門職などへ配布し、住民交流会やケアマネジャー連絡会等で周知活動も行いました。

- ・生活支援体制整備事業に関わる定例会
今後の進め方等について、福祉課と協議を行いました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催数	19 回	12 回

2. 自主財源の確保

(1) 自主事業の経営と拡充

①指定居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）による「介護保険」についての相談や申請代行、ケアプラン作成および各種サービス業者との調整や連絡などを行いました。（利用は無料。）

30年度からは、ケアマネジャーを増員し、3人体制で取り組んでいます。

	平成 30 年度	平成 29 年度
ケアプラン作成	1,032 件	1,035 件

②指定訪問介護（ホームヘルプサービス）・介護予防訪問介護事業

利用者のお宅にホームヘルパーが伺って、生活援助（掃除・調理・洗濯・買物など）や身体介護（入浴・排泄・食事の介助など）を行いました。

（利用料：介護保険のサービス単価に準ずる。）

	平成 30 年度	平成 29 年度
実施延人数	454 人	486 人

③指定通所介護（デイサービス）・介護予防通所介護事業

利用者宅に送迎を行い、デイサービスセンターにて食事や入浴、レクリエーションなど各種サービスを提供しました。また、ひきこもりがちな高齢者の社会参加や心身機能維持・向上を図るとともに、ご家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。（利用料：介護保険の負担割合に準ずる。食事代は実費負担。）

	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日数	290 日	292 日
利用延人数	7,264 人	6,843 人
1 日平均利用人数	25.0 人	23.5 人

④障害者（児）ホームヘルプサービス（居宅介護、同行援護、移動支援）

障害福祉サービスの受給者証を発行されている方のお宅に訪問介護員がお伺いし、身体的サービスや家事サービスを行います。

	平成 30 年度	平成 29 年度
活動延人数	206 人	194 人

⑤訪問支援サービス事業（独自事業）

介護保険・障害者総合支援法などを利用されている方が、制度外のサービスや制度を利用できない方に対して、在宅で自立した生活が出来るよう、適正なサービスを提供する事業です。

（利用料：生活支援 30 分 1,000 円～、身体介護 30 分 1,500 円～）

	平成 30 年度	平成 29 年度
契約者数	30 人	37 人
収 益	48,200 円	87,780 円

(2) 賛助会員の加入促進（口数）

社会福祉協議会の事業の充実を図り、「志免町に住んでよかった」という“ふくしのまちづくり”をめざすため、賛助会への加入を広く呼びかけています。

（賛助会費：1 口 1,000 円、特別賛助会費：1 口 10,000 円）

	平成 30 年度	平成 29 年度
口 数	5,343 口	5,274 口
金 額	5,343,000 円	5,274,000 円

(3) 共同募金運動の強化

募金への協力をお願いした結果、次の実績をおさめました。

	平成 30 年度	平成 29 年度
目 標 額	9,781,752 円	9,953,034 円
実 績 額	9,974,963 円	9,687,137 円
(内訳)		
戸 別 募 金	7,726,835 円	7,404,250 円
法 人 募 金	1,379,363 円	1,451,192 円
有 志 募 金	302,403 円	315,139 円
街 頭 募 金	314,627 円	246,108 円
学 校 募 金	113,072 円	137,078 円
箱 設 置 募 金	59,102 円	30,756 円
バッジ、図書・クオカード等	62,650 円	60,542 円
赤い羽根自動販売機募金	16,911 円	42,072 円

また志免町で初の寄付付き商品が、「Nino cafe」様のご協力で誕生しました。「赤い羽根ランチセット」として、1セット売り上げにつき30円を共同募金に寄付して頂きます。

(4) 町民、団体等からの支援（一般寄付・香典返し）

有志の方からのご厚意による、善意のご寄付や親族の方がお亡くなりになられた際のご香典の一部を事業運営に使わせていただいています。

	平成 30 年度	平成 29 年度
寄附金	29 件 485,276 円	16 件 915,820 円
香典返し	12 件 444,600 円	19 件 803,520 円
物 品	4 件 お米	4 件 教科書、お米、 絵はがき、 杖 3 本

3. 介護保険事業、障害者総合支援事業の拡大と推進

(1) 自主事業の安定経営と財源確保

- ・制度改革にも対応できるサービス構造への転換

平成 30 年度からの介護保険制度の変更に伴い、「デイサービス輝き」のサービス提供時間の変更やサービス利用回数の見直し等を行いました。

- ・従事者の研修、勉強会の参加と資質の向上
職場内研修の実施に加え、必要に応じて外部研修に参加しました。
- ・事業所間の連携によりサービスの向上
事業所間で定期的な情報交換を行うなどの連携を行い、サービスの向上に努めました。

4. 社協の組織体制強化

(1) 理事会・評議員会および専門部会の開催

- ・理事会・評議員会の開催
理事会 6 回、評議員会 1 回
- ・専門部会の開催
総務部会 0 回、福祉部会 2 回、広報部会 6 回、財政部会 2 回

(2) 役職員の研修会参加と勉強会実施、職員の資質向上

- ・役員：四者合同研修会および四者合同会議にて、地域福祉活動および赤い羽根共同募金運動についての研修を行いました。
- ・職員：職場内研修を年 4 回実施し、必要に応じて外部研修に参加しました。